

平成30年度長崎県普及指導活動外部評価会議実施概要

項目	内容等
趣 旨	<p>本県の農業者や地域のニーズを的確に捉え、より効果的・効率的な普及活動を展開するため、幅広い視点から普及指導活動を客観的に評価し、得られた評価結果をその活動に反映・改善していくことを目的に実施する。</p>
評価方法	<p>評価の項目は次のとおりとする。</p> <p>ア 普及指導活動の体制(組織体制、普及指導員の資質向上の取組等)</p> <p>イ 普及指導活動の実施状況(普及指導活動の課題設定、普及指導活動方法、普及活動の成果等)</p> <p>なお、普及指導活動の実施状況の外部評価は、毎年度、2振興局を対象とし、平成30年度は県北振興局と対馬振興局を対象とした。</p>
実施時期	平成30年9月6日(木)
実施場所	農協会館 702,703 会議室
外部評価委員	<p>7名(先進的な農業者、若手農業者、女性農業者、消費者、学識経験者、マスコミ、民間企業)</p> <p>農業関係団体の委員は欠席</p>

評価結果

1. 普及指導活動の体制

<p>主な意見、アドバイス等</p>	<p>【組織体制】 ・離島を含む多様な地域特性と専門性を踏まえ、適確な組織体制と人員配置が行われている。</p> <p>【普及指導員の資質向上の取組】 ・研修で習う部分も良いが、現場での色々な状況を見て、経験し慣れていって、不安を解消して欲しい。 ・アンケートや、現場の声、普及指導員の声もききながら研修内容を工夫しており、改良されている。 ・アンケートの結果分析を行い、評価が低い点などを継続して改善して欲しい。 ・指導にあたるトレーナーやグループ長などの資質向上を図るという視点は重要なので、今後も進める必要がある。 ・専門的知識の学習向上はもとより、いろんな方とコミュニケーションをとれる能力を磨くことも大切である。</p> <p>【会の進め方】 ・全体的に発表時間は守って欲しい。 ・発表の内容は充実しているが、会議時間の短縮も検討いただきたい(事前配布資料の活用、説明の簡略化など)。</p>
--------------------	--

2. 普及指導活動の実施状況

振興局名	課題名	評価した点・意見
東北振興局	担い手を支える地域 労力支援組織の育成	<p>【評価した点】 ・農家の高齢化によって産地がなくなる状況を考えて課題設定がされている。 ・東北独自の労力支援システム構築に早くから取り組んでおり、先進的である。 ・障害者の社会進出を進める観点からも農福連携に取り組んでいる。 ・関係機関との役割分担を行っており、新しい取り組みができています。 ・農業所得1,000万円農家が11戸増加していることは評価できる。</p> <p>【意見】 ・生産性を上げるような取り組みが必要。 ・人材確保に向けた支援の強化をしてもらいたい。 ・連携をスムーズに行うには事前協議の重要性が課題に出ているので、今後の改善に期待する。 ・システムの利用者とマッチングについては課題があるので、検証と改善を常に行っていただきたい。</p>
	生産・販売組織連携による キク産地強化と経営安定	<p>【評価した点】 ・市場との連携を緊密に行い、生産計画による数量の確保と高単価の維持ができています。 ・栽培方法や品種などの統一した普及指導ができています。 ・問題点、課題と目標が簡潔に整理されており、農家も理解し成果が出ている。 ・農協、生産者、普及の一体化がある。 ・経費削減のためLEDの実証試験実施など新たな取組を行っている。</p> <p>【意見】 ・外国人労働者等の労力確保について、住居や言語など他の部部のサポート体制ができていのが分かりにくい。 ・4年前のデータよりも直近のデータで比較してほしい。</p>
	畜産クラスターを核とした 収益力の向上～肉用牛 繁殖農家の規模拡大に向けて	<p>【評価した点】 ・クラスター事業を有効に生かした支援が行われている。 ・ヘルパー、AI、ICTなど若い担い手が就農しやすい支援がされている。 ・振興局の位置づけがきちんとなされている。 ・スマート農業を活用した省力化に取り組んでいる。 ・増頭や種付け日数改善など数値化できる成果がでている。</p> <p>【意見】 ・大規模農家が拡大するのにも良いが若手の育成にも力を入れて欲しい。 ・放牧ならではの良さや農家のこだわりを消費者へわかりやすくPRし、消費までつながる他部門との連携を期待する。 ・経営の中期改善計画の策定等ができるよう、経営力の向上を図る必要がある。 ・経営支援の専門家を活用してはどうか。</p>
対馬振興局	アスパラガス増収プロ ジェクト	<p>【評価した点】 ・未利用資源(マグロ残渣)を有効に活用し、畜産堆肥の不足分を補っている。 ・対馬ならではの特色を生かした取り組みができています。 ・重点農家の指導内容がキメ細かく丁寧に指導している。 ・重点農家の収量増と共に担い手の確保に成果が上がっている。</p> <p>【意見】 ・重点農家以外にも指導を徹底して欲しい。 ・他の農家へ波及させて欲しい。 ・生産意欲の向上を目標とするなら、生産額や所得の増、産地づくりなどの目標設定が良いのではないかと。 ・対馬の長所・短所を熟知し、良さをうまく利用した農業生産向上をして欲しい。</p>
	対馬における肉用牛(あ か牛)の振興	<p>【評価した点】 ・廃用推進のパンフレット作成や巡回指導など農家の理解向上に努めている。 ・削蹄組合などにより、若手農家の活躍の場ができています。 ・生産者の意欲向上、廃用牛、増頭、不受胎減など総合的に成果がでている。 ・クラスター協議会を発足し、繁殖促進の仕組みをつくりあげている。</p> <p>【意見】 ・出荷前の削蹄に対する理解促進を進めて欲しい。 ・後継者確保などの課題解決や農家にとってよりよい生産につながるサポートを継続して行って欲しい。 ・クラスター協議会の連携をしっかりとって欲しい。 ・育成農家の経営力向上を行って欲しい。 ・「対馬あか牛」のブランド確立のためにマーケティング活動を行って欲しい。</p>